

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
 コード番号 4558 URL http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	3,199	6.3	32	△57.2	38	△50.1	17	△40.7
25年3月期第2四半期	3,010	△6.7	75	1.1	76	2.9	29	40.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.56	—
25年3月期第2四半期	2.89	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	4,921	2,778	56.4	249.60
25年3月期	5,188	2,775	53.5	249.99

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,778百万円 25年3月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年3月期	—	2.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,751	4.0	230	53.9	237	62.8	123	18.2	11.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	11,660,734株	25年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	530,374株	25年3月期	557,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	11,115,219株	25年3月期2Q	10,173,543株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続き対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業務は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前期中においては復興需要や各種政策効果などにより、景気は緩やかながらも回復基調を辿りましたが、前期の後半にかけては、欧州の経済危機や新興国を中心とした海外経済の減速による輸出の減少、国内政策効果の一巡、個人消費の足踏みなどにより景気は弱めの動きとなりました。ただし、年末より新政権による財政、金融政策への期待から円安・株高の動きが強まり、一部に明るい兆しも見えてまいりました。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのTwo-Wayの拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,199百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は32百万円（前年同期比57.2%減）、経常利益は38百万円（前年同期比50.1%減）、また四半期純利益は17百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきましては、小売部門においては、一人当たりの生産性が向上し、品目別においてもドリンクや保健品等の販売が増加し前年同期比で増収となりました。卸売部門においては、前期下期より販売を開始し、大手量販店やドラッグストア等に幅広く投入されました「クイックシールド エアーマスク」に加え、新たに「クイックシールド ルーム」「クイックシールド ポケット」を開発し、商品のラインアップ向上に取り組みました。また成長戦略に向けて新規取引先の拡大や商品ブランド向上のための広告宣伝などの先行投資を積極的に取り組みました。その結果、売上高は2,910百万円（前期同期比5.8%増）、セグメント利益36百万円（前期同期比38.2%減）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され小売部門の顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は287百万円（前期同期比13.1%増）、セグメント損失3百万円（前期同期はセグメント利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,745百万円となり、前事業年度末に比べ269百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少330百万円、商品及び製品の増加208百万円および受取手形及び売掛金の減少201百万円によるものであります。固定資産は2,175百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）の増加5百万円、投資その他の資産（その他）の減少15百万円によるものであります。

この結果、資産合計は4,921百万円となり、前事業年度末に比べ267百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,653百万円となり、前事業年度末に比べ249百万円減少いたしました。これは主に、賞与引当金の減少119百万円、支払手形及び買掛金の増加110百万円および役員退職慰労引当金の減少90百万円によるものであります。固定負債は489百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少18百万円によるものであります。

この結果、負債合計2,143百万円となり、前事業年度末に比べ269百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,778百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の減少13百万円、自己株式の減少11百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の53.5%から56.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月25日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
追加情報

役員退職慰労引当金

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において役員退職慰労引当金制度の廃止を決議し、平成25年6月21日開催の定時株主総会で取締役及び監査役に対する退職慰労制度廃止に伴う打ち切り支給について決議し、承認されました。

これに伴い、同定時株主総会終結の時までの期間に対応する役員退職慰労引当金の全額を取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額234,590千円を固定負債の「長期未払金」に含めて表示しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,212,021	881,730
受取手形及び売掛金	767,247	566,021
商品及び製品	350,078	558,694
委託商品	426,253	422,012
仕掛品	128	103
原材料及び貯蔵品	33,648	47,613
その他	234,150	275,735
貸倒引当金	△7,876	△6,089
流動資産合計	3,015,653	2,745,822
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	445,094	450,741
土地	1,226,855	1,226,855
その他（純額）	80,644	80,659
有形固定資産合計	1,752,594	1,758,255
無形固定資産	50,788	53,261
投資その他の資産		
その他	384,153	368,450
貸倒引当金	△14,250	△4,215
投資その他の資産合計	369,902	364,235
固定資産合計	2,173,286	2,175,752
資産合計	5,188,939	4,921,575
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,165	693,477
短期借入金	380,000	380,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	30,017
未払法人税等	42,559	11,751
役員退職慰労引当金	90,570	—
役員賞与引当金	8,704	—
賞与引当金	268,000	149,000
返品引当金	12,305	3,874
その他	477,673	385,383
流動負債合計	1,902,973	1,653,503
固定負債		
長期借入金	78,766	59,824
退職給付引当金	127,721	131,062
役員退職慰労引当金	231,570	—
資産除去債務	4,408	4,431
長期未払金	—	234,590
その他	67,886	59,991
固定負債合計	510,352	489,900
負債合計	2,413,326	2,143,403

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,901,405	1,887,562
自己株式	△237,686	△225,946
株主資本合計	2,768,908	2,766,806
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,704	11,365
評価・換算差額等合計	6,704	11,365
純資産合計	2,775,613	2,778,171
負債純資産合計	5,188,939	4,921,575

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,010,598	3,199,855
売上原価	1,056,219	1,178,982
売上総利益	1,954,378	2,020,872
販売費及び一般管理費	1,878,843	1,988,516
営業利益	75,534	32,355
営業外収益		
受取利息	175	60
受取配当金	830	1,562
受取家賃	6,187	5,720
貸倒引当金戻入額	—	2,965
保険解約返戻金	2,031	—
その他	2,787	4,042
営業外収益合計	12,013	14,351
営業外費用		
支払利息	3,111	1,270
支払手数料	7,965	7,246
その他	89	81
営業外費用合計	11,166	8,597
経常利益	76,381	38,109
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,665
特別利益合計	—	1,665
特別損失		
固定資産除却損	—	279
投資有価証券評価損	10,338	—
特別損失合計	10,338	279
税引前四半期純利益	66,043	39,495
法人税、住民税及び事業税	7,406	6,913
法人税等調整額	29,285	15,189
法人税等合計	36,691	22,102
四半期純利益	29,351	17,392

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	66,043	39,495
減価償却費	31,352	33,406
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,695	△11,822
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,563	3,341
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,000	△119,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,360	△87,550
受取利息及び受取配当金	△1,006	△1,623
支払利息	3,111	1,270
固定資産処分損益 (△は益)	—	279
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,665
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,338	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,753	201,225
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,573	△218,314
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,903	110,311
その他	16,319	△159,737
小計	△7,646	△210,383
利息及び配当金の受取額	922	1,541
利息の支払額	△3,111	△1,268
法人税等の支払額	△6,765	△37,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,601	△247,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,800	△19,802
定期預金の払戻による収入	19,200	19,200
有形固定資産の取得による支出	△8,388	△22,280
無形固定資産の取得による支出	—	△1,850
投資有価証券の売却による収入	—	2,297
貸付金の回収による収入	882	451
その他	1,778	1,364
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,327	△20,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△370,000	—
長期借入金の返済による支出	△89,772	△28,920
リース債務の返済による支出	△9,309	△14,082
自己株式の取得による支出	△6	△75
自己株式の売却による収入	9,294	8,336
配当金の支払額	△25,382	△27,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485,176	△62,499
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△508,104	△330,893
現金及び現金同等物の期首残高	1,317,873	1,048,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	809,768	717,979

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
計	2,179,652	572,206	254,427	3,006,286	4,312	3,010,598
セグメント利益 又は損失(△)	62,078	△3,539	16,995	75,534	—	75,534

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	2,274,536	635,794	287,729	3,198,061	1,793	3,199,855
計	2,274,536	635,794	287,729	3,198,061	1,793	3,199,855
セグメント利益 又は損失(△)	81,965	△45,812	△3,798	32,355	—	32,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当該事項はありません。